

今日のトピック アジア・オセアニアのリート市場の動向（2017年7月） 香港、シンガポールが上昇：今後も好業績が支えよう

ポイント1 香港、シンガポールが上昇 オーストラリアは横ばい

- 17年7月のアジア・オセアニアリート市場を現地通貨ベースで見ると、香港、シンガポール市場は上昇し、オーストラリア市場は横ばいでした。
- 香港市場は、主要銘柄が保有物件の売却計画を発表し、売却資金の活用方法で投資家への還元期待が高まったことから大きく上昇しました。
- シンガポール市場は、国内や中国の堅調な経済指標から第2四半期決算での業績改善見通しが高まり上昇しました。
- オーストラリア市場は、長期金利が高止まりしたことなどから上値が重く、横ばいでした。

【各国・地域の騰落率】

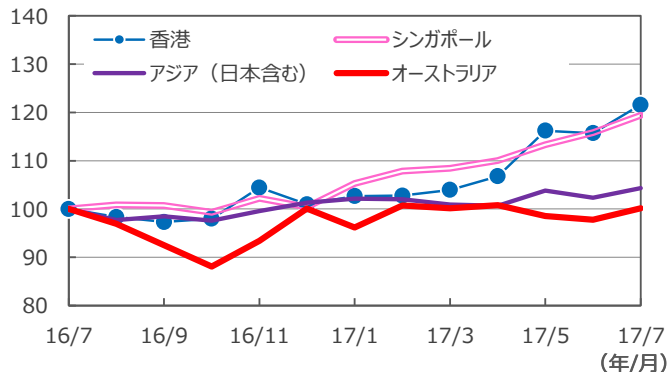
国・地域	当月騰落率		過去1年騰落率	
	現地通貨ベース	円ベース	現地通貨ベース	円ベース
香港	6.9%	5.1%	13.5%	21.6%
シンガポール	3.3%	3.1%	11.9%	19.4%
オーストラリア	0.0%	2.4%	▲11.6%	0.1%
アジア（日本含む）	2.4%	1.9%	1.8%	4.4%
グローバル	0.5%	0.5%	▲6.8%	1.3%

(注) データはGPRグローバル・ハイ・インカム・リート・インデックス。
当月騰落率は2017年7月。
過去1年騰落率は、2016年7月末～2017年7月末。
(出所) GPR社のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 円ベースは3市場とも上昇 通貨は豪ドルがプラス寄与

- アジア・オセアニアリート市場の7月の円ベース騰落率は、3市場とも上昇しました。
- 円相場は対香港ドル、対シンガポールドルで上昇する一方、対豪ドルでは下落しました。この結果、オーストラリア市場は、円安により為替効果がプラスとなりました。

(ポイント) 【各国・地域のインデックスの推移】



(注) データはGPRグローバル・ハイ・インカム・リート・インデックス（円ベース）。
2016年7月末～2017年7月末。2016年7月末を100として指数化。
(出所) GPR社のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 好業績に支えられ、堅調推移が見込まれる

- アジア・オセアニアリート市場は今後も堅調に推移すると期待されます。米国の長期金利が落ち着いた動きになると見られるなか、中国経済の安定もあり、域内の景気回復基調がリートの業績を支えることが背景です。
- 香港市場は個別銘柄の材料が注目されそうです。シンガポール市場は、4-6月期の1口当たり配当金の成長率がほぼ横ばいでしたが、景気回復に伴い、業績改善期待が続くと見られます。オーストラリア市場は、長期金利高止まりの影響を受けていますが、8月の決算を通じて業績上振れの余地があると思われます。

ここも
チェック! 2017年8月 7日 グローバル・リート市場の振り返り（2017年8月）
2017年7月14日 アジア・オセアニアのリート市場の動向（2017年6月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。